

## 第7回 日本の貿易 基本問題

- 1 かつての日本の貿易<sup>ぼうえき</sup>の特色は、( 原料 )や燃料を輸入し、( 製品 )を輸出する( 加工 )貿易でした。
- 2 1985年以後、( 円高<sup>えんだか</sup> )を背景に、機械などの( 製品 )の輸入が増え、輸入額全体の半分ほどをしめています。
- 3 日本の会社が、海外の工場で生産した製品を輸入することを( 逆輸入<sup>ぎやくゆにゅう</sup> )とといいます。
- 4 かつて長い間、輸出入ともアメリカが最大の相手先でしたが、近年は( 中国 )となっています。
- 5 現在の輸出品の第1位は機械類で、第2位は( 自動車 )です。
- 6 輸入品の第1位は機械類で、第2位は( 石油 )、液化天然ガス、衣類と続きます。
- 7 日本は長い間貿易( 黒字 )でしたが、2011年～2015年までは輸入額が輸出額を上回り、貿易( 赤字 )となりました。
- 8 7の原因は、産業の( 空洞化<sup>くうどうか</sup> )に加え、( 東日本大震災<sup>ひがしにほんだいしんさい</sup> )の影響で自動車や電子部品の輸出が減ったことや、原子力発電の停止分の火力発電所の燃料である( 天然ガス )の輸入が増えたことなどです。
- 9 小麦・大豆・とうもろこしなどの穀物<sup>こくもつ</sup>は、( アメリカ )からの輸入にたよっています。
- 10 野菜と魚介類<sup>ぎょかいりい</sup>は、( 中国 )から最も多く輸入しています。
- 11 日本が輸入している自動車の約半分は、( ドイツ )からのものがしめています。
- 12 鉄鋼は、中国や( 韓国 )など、アジアの国々に輸出されています。
- 13 船舶は、船にかかる税金の安い( パナマ )・リベリアなどに輸出されています。
- 14 輸出入額第1位の( 成田 )空港の輸出入品の上位には、半導体<sup>はんどうたい</sup>などの、小型で高価なものが多く見られます。
- 15 名古屋港や横浜港は、港のある県に大工場があるため、( 自動車 )の2大輸出港となっています。
- 16 食料品や衣類などの輸入が多い港は、( 東京 )、大阪、神戸などの大消費地に近いところです。
- 17 自動車の輸出先は1位が( アメリカ )で40%近くをしめ、2位オーストラリア、中国と続きます。
- 18 電子部品の輸出先は1位が( 中国 )、2位台湾<sup>ほんこん</sup>、香港と続きます。
- 19 日本の円やアメリカの( ドル )など、ある国で使われているお金を( 通貨 )とといいます。
- 20 日本と特にアメリカ合衆国との間には、( 貿易摩擦<sup>ぼうえきまさつ</sup> )といわれる経済<sup>けいざいじょう</sup>上の対立がありました。
- 21 20をさけるために、自動車会社の場合、輸出台数を制限する自主規制やアメリカに工場をつくり( 現地生産 )をするようになりました。
- 22 1970年代の初めまで1ドル( 360 )円と決められていました。現在は交換比率( 為替 )が変動します。たとえば、1ドル120円が1ドル100円になることを( 円高 )ドル安とといいます。
- 23 22のような状態<sup>じょうたい</sup>になると、一般に自動車など輸出中心の会社にとっては不利で、原油や石炭などを( 輸入 )する時は有利になります。
- 24 関税<sup>かんぜい</sup>を引き下げたり、貿易上の制限<sup>せいげん</sup>をなくすことを、貿易の( 自由化 )とといいます。
- 25 大きさが決まった箱形の( コンテナ )に貨物を入れると大量に輸送ができるため、港には( コンテナ埠頭<sup>ふとう</sup> )がつくられています。専用船を( コンテナ船 )とといいます。